

証券コード：6928



第52期 中間報告書

2017年4月1日～2017年9月30日



株主の皆様へ



代表取締役社長

武内 延公

株主の皆様におかれましては、格別なるご支援を賜り心より厚く御礼申し上げます。第52期中間報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

エノモトグループは「経営の中心は人であり、健全なものづくりを通じて、豊かな社会の実現に貢献する」という志を経営理念とし、1962年（昭和37年）の創業以来、多くのプレス加工に関する新技術を開発し、打ち抜き加工・曲げ加工・絞り加工・樹脂成形加工等広範囲のジャンルの金型技術を確立し、また、日進月歩で軽薄短小化・高機能化・多機能化する市場ニーズに応えるべく、金属とプラスチックの超微細複合加工技術を確立し、

日本のものづくりに貢献して参りました。

その時代で求められる市場ニーズにエノモト独自の技術力を駆使し迅速に対応をはかってきたことにより、これまでにIC・トランジスタ用リードフレームをはじめ、リレー用部品、オプト用リードフレーム及びマイクロピッチコネクタ用部品へとその事業領域を順次拡大して参りました。

特に地球温暖化防止に貢献する省エネルギー関連製品として、急速に普及が進んでいるLED（発

財務ハイライト（連結）

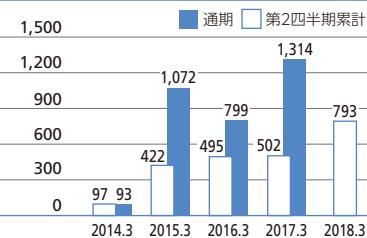
売上高

（単位:百万円）



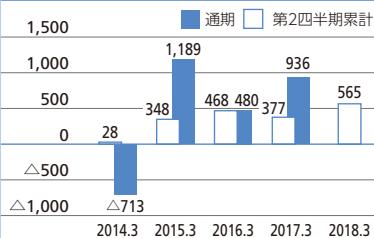
経常損益

（単位:百万円）



親会社株主に帰属する四半期(当期)純損益

（単位:百万円）



光ダイオード) に代表されるオプト用リードフレームをはじめ、ユビキタス時代の代表的なハードウェアであるスマートフォン等のIT機器に搭載されているマイクロピッチコネクタ用部品は、今後の社会の発展を支えるキーテクノロジーの一つであると自負しております。また、それらの製品を世界中の主要メーカーに供給していることにより、当社グループが今後とも豊かな社会を実現するために必要な存在であり続けることができるものと信じております。

当社グループが対処すべき課題として、中期的な経営方針として掲げた項目の実現のために、特に年度ごとに経営重点課題を設定して全社的な取り組みを推進しております。

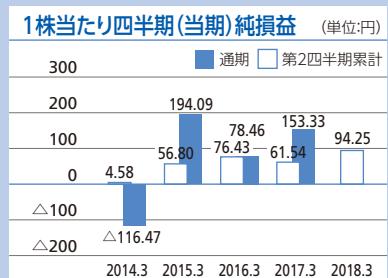
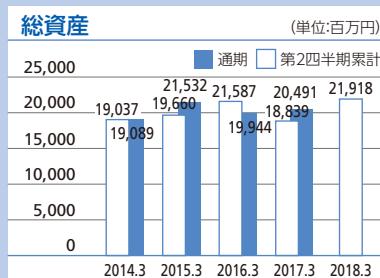
2016年度から2020年度の5年間に当社グループの事業運営の指針となる、中期経営方針として『新たな価値の創造～他社が真似のできないものづくりを追求する～』を掲げております。これは、

これまで5年間にわたり運用して参りました旧中期経営方針の主要テーマを維持しながら、当社が培ってきた技術力を最大限に活用し、更に上のステージへ踏み出していくための決意を込めたものとなっております。

また、2年目にあたる2017年度の経営重点テーマとして、『勇氣』を掲げました。すべての経営者及び従業員が、従前の慣習や常識に拠った思考・体質の枠組みから積極的に踏み出していく勇氣を持ち、更に上のレベルの経営品質を目指すために、力強く成長を継続することを表現しております。

株主の皆様におかれましては、引き続き当社グループへのご理解と、今後の事業展開に向けた長期的なご支援、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2017年12月



※2017年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施しました。これに伴い、過年度の「1株当たり四半期純利益」を遡及修正しております。

事業別の概況

第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な輸出や雇用環境の改善による個人消費の回復にけん引され、引き続き成長基調が維持されております。また、2016年末以降の円安に後押しされた企業収益の増大の影響もあり、設備投資や冬季賞与等に関して増加が見通されております。

海外におきましては、アメリカ経済では8月に発生した大規模なハリケーン災害の影響により、一時的に鉱業や製造業を中心とした落ち込みが発生いたしました。年末に向けては災害復興需要なども見込まれるなど、全体的には回復基調にあります。ヨーロッパ経済においては、イギリスではEU離脱に伴う先行き不安感が依然として根強く、ポンド安を支えとしたインバウンド需要にも5月から6月にかけて発生したテロの影響から陰りが見えております。ユーロ圏全体では緩やかな成長基調を維持し、雇用環境の改善により個人消費が堅調に回復しております。中国経済においては、景気の過剰な加速の統制を目的とした、政府による投資抑制が開始された影響もあり減速感が表出している面もありますが、個人消費は引き続き好調に推移しております。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、スマートフォン用部品は中国メーカーの需要が依然として高水準を維持しており、北米メーカーの新規モデルも加わっております。また、自動車向け部品やIoTを支えるセンサー関連部品につきましても、市場は堅調に成長しております。

このような状況下、当社グループは更なる品質の改善と製造工程の自動化・効率化による製造コスト低減を組織的に推進し、売上及び収益力の向上に努めて参りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は107億6千万円(前年同四半期比15.2%増)、営業利益は8億5百万円(同49.3%増)、経常利益は7億9千3百万円(同57.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億6千5百万円(同49.9%増)となりました。

通期の見通し

当社グループを取り巻く事業環境は、アメリカ経済及びヨーロッパ経済ともに概して成長基調を維持し、中国経済も一部で減速の兆しを見せながらも現状では好調に推移しています。しかしながら経済的、政治的または地政学的なリスクは各地において高まっており、見通しは非常に困難な状況です。国内では企業収益は好調を維持していますが、先行きの不透明感から賃金の伸びは緩慢で個人消費の回復は依然として鈍いものとなっております。

現在、当社の主力となっているスマートフォン及びタブレット型端末向けコネクタ用部品の需要は、中国メーカー向け部品が好調を持続しており、北米メーカー向け部品の需要も加わったことから当面は高水準を維持するものと予測されます。

また、リードフレームにおいてもIC・トランジスタ用リードフレームの自動車向け部品や民生用トランジスタ向け部品は安定的な需要が見込まれており、好調を維持できるものと見込んでおります。

このような環境下、当社グループは当社の強みである金属と樹脂の精密複合加工技術をベースとして過去の枠組みにとらわれない新たな顧客の開拓を積極的に行い、全社一丸となって売上及び収益力の更なる向上に努めて参ります。

通期の連結業績予想

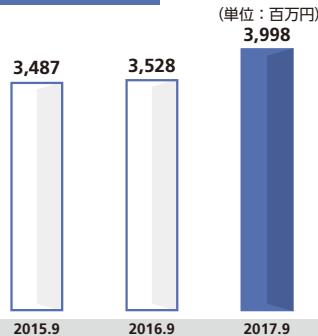
通期の見通しにつきましては当初予想のとおり、売上高は195億円(前連結会計年度比0.7%増)、営業利益13億円(同4.8%増)、経常利益13億2千万円(同0.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益9億5千万円(同1.4%増)を見込んでおります。

売上高	19,500百万円
営業利益	1,300百万円
経常利益	1,320百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	950百万円

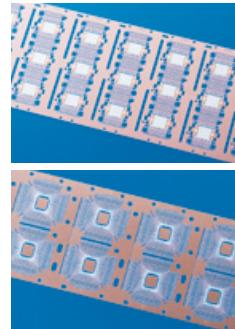
IC・トランジスタ用リードフレーム

売上高 39億9千8百万円 (前年同期比 13.3%増)

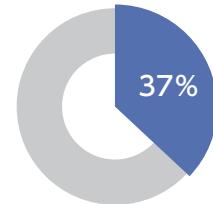
売上高推移



当製品群は、自動車向け、民生用機器向けが主なものであります。自動車の電装化率の上昇と一部の民生用機器向け部品の需要が引き続き堅調に推移しました。その結果、当製品群の売上高は39億9千8百万円（前年同四半期比13.3%増）となりました。



売上高比率



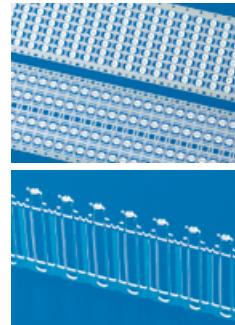
オプト用リードフレーム

売上高 14億6千5百万円 (前年同期比 8.3%減)

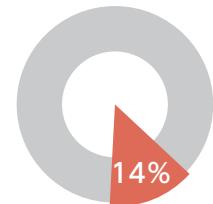
売上高推移



当製品群は、LED用リードフレームが主なものであります。自動車向け、照明向けが中心であります。LED市場の低価格化の影響から低価格モデルの受注が増加しました。その結果、当製品群の売上高は14億6千5百万円（同8.3%減）となりました。



売上高比率

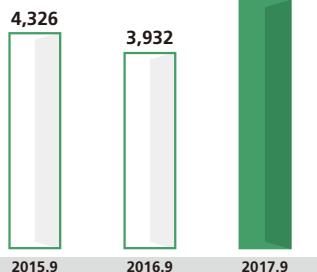


コネクタ用部品

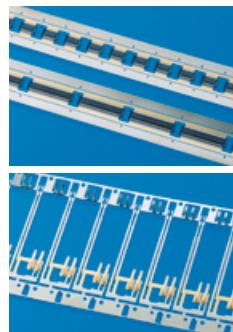
売上高 49億7千3百万円 (前年同期比 26.5%増)

売上高推移

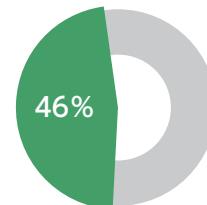
(単位：百万円)



当製品群は、スマートフォン向け、デジタル家電向けが主なものであります。特に、スマートフォン向け部品が中心であり、中国メーカー向け部品の需要は引き続き高い水準で推移しており、北米メーカー製新規モデル向けの部品も加わりました。その結果、当製品群の売上高は49億7千3百万円 (同26.5%増) となりました。



売上高比率

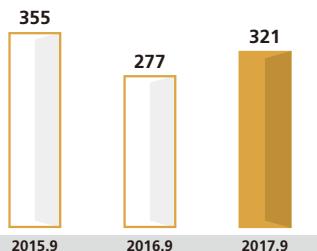


その他

売上高 3億2千1百万円 (前年同期比 15.8%増)

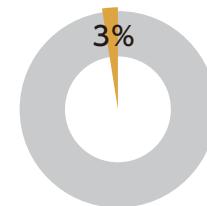
売上高推移

(単位：百万円)

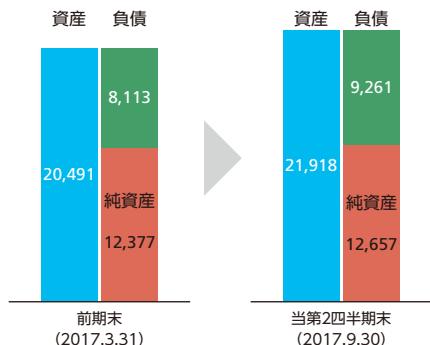


その他の製品群としては、リレー用部品が主なものであります。当製品群の売上高は3億2千1百万円 (同15.8%増) となりました。

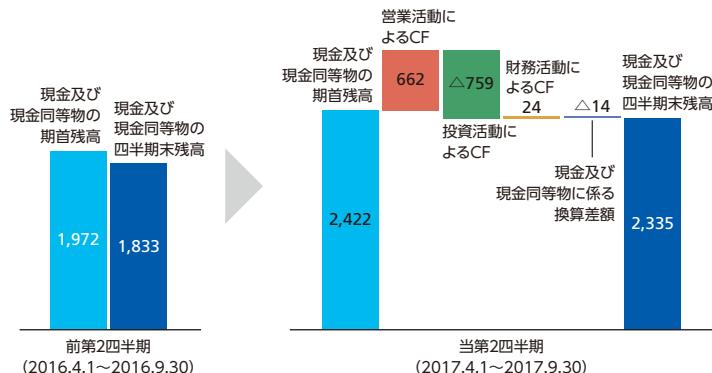
売上高比率



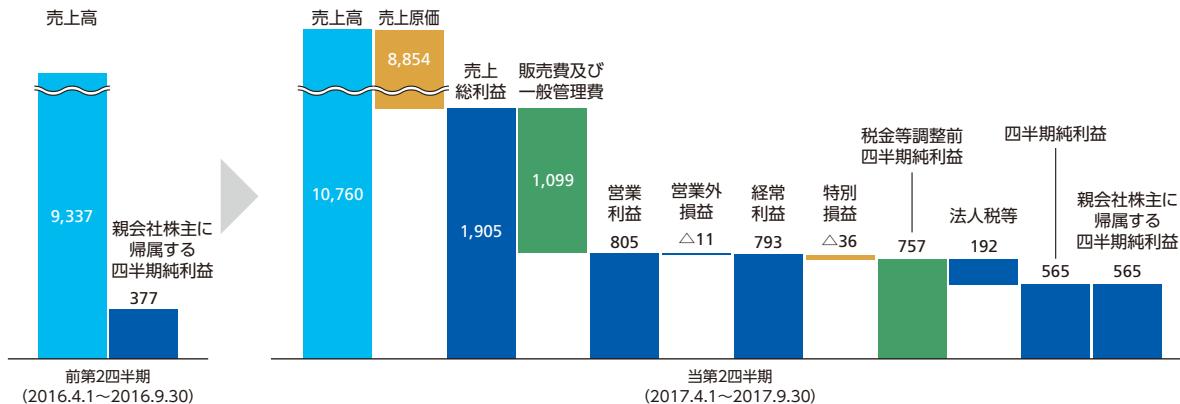
■ 連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



■ 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



POINT!

(連結貸借対照表)

当第2四半期連結会計期末の総資産は、前期に比べ14億2千6百万円増加し、219億1千8百万円となりました。流動資産は、売上債権及び棚卸資産の増加により前期に比べ9億1千3百万円増加の108億7千6百万円となり、固定資産は、設備投資により増加したため、前期に比べ5億1千3百万円増加の110億4千2百万円となりました。

一方、負債合計は、前期に比べ11億4千7百万円増加し、92億6千1百万円となりました。これは主に仕入債務及び設備購入に係る未払金の増加によるものです。

また、純資産は利益剰余金の増加により126億5千7百万円となりました。この結果、自己資本比率は57.7%となりました。

(連結キャッシュ・フロー計算書)

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結会計期末に比べ5億1百万円増加し、当第2四半期連結会計期末には23億3千5百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は6億6千2百万円(前年同四半期は6億5千万円の取得)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益7億5千7百万円、減価償却費4億8千2百万円及び仕入債務の増加6億6百万円による資金の増加、売上債権の増加8億2千4百万円及び法人税等の支払2億1千9百万円による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は7億5千9百万円(前年同四半期は4億1千2百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出7億5千万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は2千4百万円(前年同四半期は2億3千2百万円の使用)となりました。これは主に長期借入による収入3億2百万円、長期借入金1億7千4百万円の返済及び配当金1億4千9百万円の支払によるものであります。

■株式の状況

発行可能株式総数	3,760,000株
発行済株式の総数	1,534,840株
株主数	1,363名

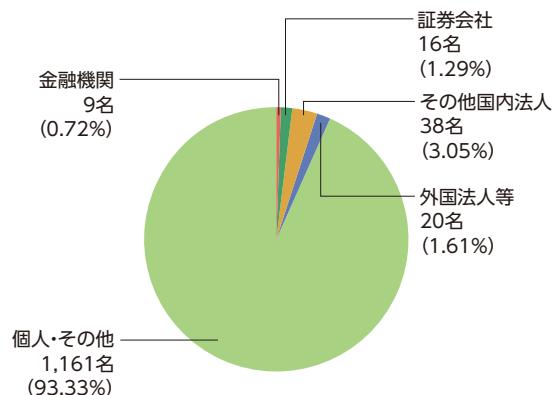
大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社エノモト興産	200,065	13.3
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	156,700	10.4
有限会社エムエヌ企画	109,882	7.3
株式会社山梨中央銀行	45,375	3.0
エノモト従業員持株会	39,473	2.6
松岡憲一	23,900	1.6
櫻井宣男	23,415	1.6
榎本貴信	22,400	1.5
櫻井妙子	22,015	1.5
榎本寿子	22,015	1.5

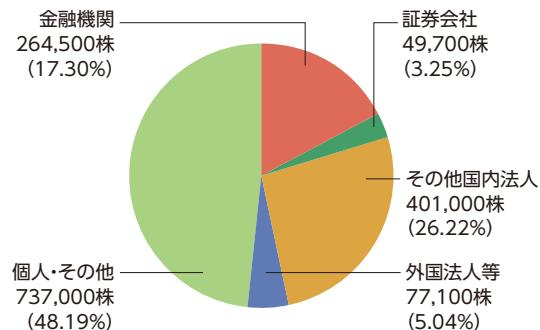
(注1) 2017年8月25日開催の取締役会の決議により、2017年10月1日付で1株を4株とする株式分割を行っております。これにより、提出日現在の発行可能株式総数は11,240,000株増加し15,000,000株となっており、また発行済株式総数は4,604,520株増加し、6,139,360株となっております。

(注2) 持株比率は自己株式(34,979株)を控除して計算しております。

所有者別単元株主数比率



所有者別単元株式数比率



■会社概要 (2017年9月30日現在)

社名	株式会社エノモト
本社	山梨県上野原市上野原8154番地19 TEL 0554 (62) 5111
創業	1962年7月1日
資本金	4,149,472千円
従業員数	435名
事業内容	各種電子部品用プレス加工品及び 射出成形加工品の製造販売
子会社	ENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING Inc. ENOMOTO HONG KONG Co.,Ltd. ZHONGSHAN ENOMOTO Co.,Ltd.

■役員 (2017年9月30日現在)

代表取締役社長	武内延公	常勤監査等委員(社外)	土屋義夫
常務取締役	伊藤一恵	監査等委員(社外)	倉田明保
取締役	櫻井宣男	監査等委員(社外)	八巻佐知子
取締役	小澤志郎		
取締役	白鳥誉		
取締役	成田幸則		
取締役	久嶋光博		

■国内拠点

本社
〒409-0198 山梨県上野原市上野原8154番地19
TEL 0554 (62) 5111 FAX 0554 (63) 4193

営業部
〒409-0198 山梨県上野原市上野原8154番地19
TEL 0554 (62) 5112 FAX 0554 (62) 4319

本社工場
〒404-0036 山梨県甲州市塩山熊野666番地
TEL 0553 (32) 1111 FAX 0553 (32) 1159
〒409-0198 山梨県上野原市上野原8154番地19
TEL 0554 (62) 5115 FAX 0554 (62) 4089

津軽工場
〒037-0017 青森県五所川原市大字漆川字玉椿191番地1
TEL 0173 (33) 0570 FAX 0173 (34) 5206

岩手工場
〒028-1131 岩手県上閉伊郡大槌町大槌第10地割39番地
TEL 0193 (42) 8511 FAX 0193 (42) 8513

ホームページのご案内

<http://www.enomoto.co.jp>

最新の当社IR情報等をご覧ください。





岩手工場、ものづくりの真価を追求 比類なき高品質へ～



太平洋に面した岩手県沿岸部の町、大槌町はひょっこりひょうたん島のモデルといわれる蓬莱島がシンボルの町です。1995年、エノモト岩手工場はこの地で操業を開始いたしました。

東日本大震災から6年。内陸部に位置する工場のため津波による被害はありませんでしたが、町は大きな被害を受けました。未だ復興の途上ではありますが、国内外皆様の多大なご支援を頂き、苦難を力にかえるべく従業員一同、心をひとつに力を合わせがんばっております。

岩手工場では、プレス加工、樹脂成型加工をメインに行っておりますが、自動車向け部品が年々増加し現在では売上の半分を占めるまでになり、コネクタ用部品と合わせ年々厳しさが増す品質要求に対応しております。国内外各工場との連携も深めお客様に価値を感じてもらえる「もの」・「こと」づくりを目指しておりますが、より強く魅力ある工場になるため、その一環として自動車産業の品質規格であるIATF16949認証取得へ向けた取り組みもスタートしました。

岩手工場の特色として、長年進めてきた多能工化があります。自部署だけの工程だけではなく他部署を含められる工程はやる。『個性を活かしつくるのはチームワーク。チームワークをつくるのは一人一人の力』をモットーに人間性を重視し互いを補い高め合う取り組みを継続しております。

今後、更なる自動化も合わせ、どこにも負けない工場を目指し進んで参ります。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日
定時株主総会 毎年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の
本店及び全国各支店で行っております。

- ・住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金のお支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・「配当金計算書」について
配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。
*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 6928

いいかぶ

検索



空メールにより URL自動返信 kabu@wjm.jpに空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

ENOMOTO Co.,Ltd.



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

